



## 第 30 回例会報告 (3月16日)

## 【出席報告】

・会員数 54名  
 ・当日出席率 75.51%  
 ・出席数 38名  
 ・前々回修正出席率 91.84%  
 ・欠席数 16名

<欠席会員>平田、小堀、木村、桑森、河野、眞鍋、村上(修)、岡本、坂本、竹田、八木(正)、八木(伸)

〔免除会員〕青野(明)、檜垣(巧)、光藤、白石

<3/2欠席補填>(2/20今治北)冠、吉良、木村、桑森、小堀、松本、西本 (2/28丸亀東)檜垣(俊)、眞鍋

## 音楽例会

◆松木徹夫会員:年に一回の音楽例会が恒例となりつつあります。昨年、ガバナー補佐をされている大沢さんから、松山に「さくら」という音楽グループがあるというのを聞きまして、本日の運びとなりました。

◆アンサンブルさくら:クラシックを気軽に楽しんでもらいたいという思いから、ヴァイオリニストの柏原大蔵氏を中心に2005年に結成された。現在年間40~50件のコンサートを行っている。▼柏原大蔵氏(ヴァイオリニスト)松山北RCメンバー。2000年に渡欧し、プラハコンセルヴァトワールを修了。2005年帰国以来、松山を拠点に日本各地で演奏活動を行っている。1785年製ガリアーノを使用。清水美千子氏(ソプラノ歌手)2006年3月までカワイ音楽教室委任講師を務め、現在愛媛県、広島県を中心に演奏活動を展開している。井ノ上典子氏(ピアニスト)愛媛大学在学中より県内を中心にコンサートやイベントにてアンサンブルピアニストとして活動。▼演奏していただいた曲目は「さくらさくら~早春賦/日本民謡(トリオ)」。ロータリアンは30代後半から40代以上の方がほとんどだと思ってしまうので、なじみのある曲ではないかと思う。二曲目は「愛の挨拶/エルガー(vn/pf)」。エルガーはイギリスの作曲家。とても愛妻家でプロポーズの時に作った歌(諸説あり)。三曲目は「Ave Maria/シューベルト(sop/pf)」。Ave Mariaはシューベルト、グノー、カッチーニと三人の作曲家が作った。簡単な訳は「マリア様万歳」でマリア様をたたえている歌。四曲目は「タイスの瞑想曲/マスネ(vn/pf)」。フランスの作曲家マスネが作った、オペラの中の間奏曲。五曲目は「私のお父さん/プッチーニ(トリオ)」。フィギアスケートの荒川静香さんが使った曲。娘が父親に結婚の許しを乞う歌。六曲目「チャルダッシュ/モンティ(vn/pf)」、通称酔っ払いの曲と言われている。テンポが次々変わるのが由来。七曲目は「Stand Alone/久石譲(トリオ)」。最後はクラシックとは違うポピュラーな曲。ジブリの曲を作られている久石譲さんの曲。アンコールでオペラ椿姫の中から「乾杯の歌」を短めに。▼柏原氏:「ヨーロッパはクラシックの演奏家は非常に貧しく、昼はタクシーの運転手で夜は演奏家の知人も居た。しかしコンサートの料金は格安で、学生なら40円、大人でも最前列で3000円と高価なものではないと感じた。日本でもそうあって欲しいという願いから、地元に戻って演奏活動を続けている。」▼日本人は味覚、視覚は優れているが、聴覚が弱いとの事で、20万円と50万円の弓を使ってヴァイオリンの聞き分け等の楽しい時間もあり大盛況で終わった。平尾会長の感想のように「耳からではなく、全身から沁み込んでくるような音色」だった。



<ゲスト>アンサンブルさくら 柏原大蔵様<松山北RC>、清水美千子様、井ノ上典子様

## 次回例会(3月23日)

## 【ロータリー情報委員会アワー】

<会員誕生日祝> 村上 修三氏 (3/23)  
 <配偶者誕生日祝> 河野 通則氏 (4/8) 平田 勝豪氏 (4/12)  
 <結婚記念日祝> 檜垣 巧氏 (4/11)  
 <入会記念日祝> 菅 主浩氏 (3/28) 光藤 廣司氏 (4/3)

〔 笹 〕